



大切なお人形を心を込めてご供養いたします

人形供養祭

お電話にてお申込みの上、当日会場へご供養されるお人形をご持参ください

とき 3月7日(日) **場所** 臨済宗南禅寺派 安住寺 (杵築市南杵築379)

受付 12:00 ~ 13:00 (法要 13:00 ~ 13:30)

**お申込み
お問合せ** ☎ 0978-63-0100
(一般社団法人 杵築市観光協会)

締切り 2月28日(日)

供養料

ひな人形一式 5,000円

市松人形
フランス人形など 1体 1,000円

みかん箱程度を目安
何体入れても可 1箱 2,000円

【お願い】

お人形のみご持参ください。

ガラスケース・装飾ケースのほか、

兜飾り、備品等はお受けできません。



当日、会場へお越しになれない方は、前日(3/6・土)までに、杵築ふるさと産業館へお人形をお持ち込みください。大切にお預かりし、ご供養いたします。

お人形の事前お預かり：杵築ふるさと産業館(杵築市杵築665-172)

安住寺

古くから豊後仏国といわれた国東半島の付け根、大分県は杵築市、小京都・城下町にある禅の古刹です。この杵築市には禅宗をはじめ多くの寺院があります。

安住寺（あんじゅうじ）は正式には、釣鼈山（ちょうごうざん）安住養國禪寺（あんじゅうようこくぜんじ）と称し、臨済宗南禅寺派に属しています。

正元元年（1259）鎌倉時代、木付初代親重公の創始により、2月18日洛東の東福寺より、聖一国師・円爾弁円大和尚を勧請し開山の式を挙げ、安住寺の「開祖」とした。また安岐郷の金胎興竜蜜寺、仏山正眼和尚を住持とした。

安住寺は、木付氏累代の菩提寺であったが、木付氏の滅亡後再度の火災にあい、現在の本堂は平成5年（1993）に改築されたものである。

『大日本寺院総覧』によると、安住寺はもと南台の東南端八坂川を見下ろす断崖の上にあったという。また、「古昔神人庭前の石上に踞して河中の亀を釣った」といわれ、このことから山号を釣鼈山（ちょうごうざん）と称した。

その後兵火によって焼失し、文禄二年（1593）大友氏に殉じて木付氏は亡び、寺も極度に衰微した。しかし松平氏入部後、延宝年間（1673～81）に現在地に再興され、三室和尚をもって中興の祖としている。

木付氏四代、木付頼直公が文和二年（1353）五月十八日、都匠（棟梁）上野実貞に命じ鑄造させた県内最古の梵鐘（県指定有形文化財）や、三国伝来の「閻浮壇金観音像」があります。また、愛媛県宇和島市出身の芸術家、村上天心居士縁の寺で数多くの作品が残り、天心居士も当寺に眠る。



主な年中行事

- 1月17日 大般若祈祷法要
- 4月8日 花まつり
- 4月下旬 無縁供養 説教会法要
- 8月3日 山門施食会法要
- 8月上旬より 盆棚経
- 12月31日 除夜の鐘

アクセス

大分空港道路 杵築 IC より、自動車で約5分

臨済宗南禅寺派・安住寺

大分県杵築市大字南杵築 379

TEL 0978-62-2680